いわきのSANKAKUSANさんかくさん

～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。

今回はWingの編集委員を終える皆さんにインタビューしました。

Q&A

Q 編集委員の活動の中で一番印象に残ったことは何ですか?

A いろいろな言葉を覚えたことです。アンコンシャス・バイアスやフェムテックなどジェンダーに関する言葉がたくさんあって、知ることの必要性を感じました。（加藤）

A 中学校の制服について取材したことです。私が学生の頃、自分の制服姿に違和感を覚えて生活をしていました。その頃はそれが当たり前で他に選択肢がないと思い込んでいましたが、制服が性別問わず選択できる中学校ができてとても驚きました。制服を導入する前に誤解を生まぬように説明の場を作っているなど、生徒たちのことを考えてくれている学校にも感動しました。（影井）

A トイレの問題を取り上げ、取材で自主的に市内外のいろいろなトイレを見て歩いたことが印象深かったです。そして災害時のトイレの課題にも取り組み、トイレトレーラーを見学した後に能登の震災があり、必要性を感じました。（小林）

A 中高生にジェンダーについてのアンケートを取ったことです。若い世代は多様性についてとても柔軟な考えをもっていることに感動しました。（鈴木）

A 福島県男女共生センターに取材に行ったことが印象に残りました（緑川）

Q これから挑戦したいことは何ですか?

A 何か資格を取ることにチャレンジしたいです。（加藤）

A 自分で作った作品を販売したいです。それとモノづくりで使う道具を自作したいので、金属加工や木材加工にも挑戦したいと思っています。（影井）

A 全世代型（子ども・高齢者）の集える居場所づくりをしたいです。子ども・未来の人に生きやすい地域（地球環境）を繋げたいです。（小林）

A 終活です。身近な人の死を経験し、後悔のない日を過ごしたいです。旅行が好きなので、できる限り旅をしたい。毎日が終活と思います。（鈴木）

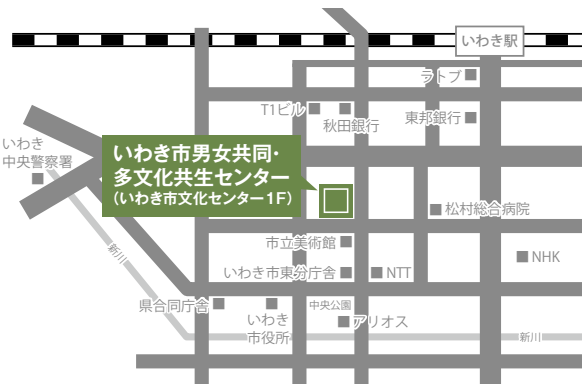
A 学校と保護者、児童生徒を適切に繋げる活動をしたいです。（緑川）

Wingのリニューアルのお知らせ

情報紙「Wing」は、1993年（平成5年）に「女性情報紙」として創刊しました。2001年（平成13年）発行の第16号からは、「男女共同参画情報紙」として発行され、今号で62号となりました。
令和5年4月に「男女共同参画センター」が「男女共同・多文化共生センター」になったことに伴い、次号からは、男女共同参画に加え、多文化共生、人権、ユニバーサルデザインなどを発信する情報紙にリニューアルする予定です。

wing
いわき市男女共同参画情報紙 ーウィングー
vol.62 2025年3月 発行
編 集 長：加藤　藤子
編集委員：影井　和也　小林美智子
　　鈴木かおり　緑川　琴江
発　　行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4
Tel.0246-41-9201　fax.0246-41-9202
E-mail：danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

いわき市女性活躍推進ポータルサイト
詳しくはこちら▶



VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。